

ハンダ付け前に別紙の「正しいハンダ付けの仕方」をよくお読みください。

①基板

□□ 「P-479」



②抵抗

- R1 4.7K (黄紫赤金)
- R2 10K (茶黒橙金)
- R3 1K (茶黒赤金)
- R4 1K (茶黒赤金)
- R5 10K (茶黒橙金)
- R6 10K (茶黒橙金)

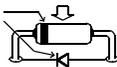
取付方向なし
まっすぐに差し込む



③ダイオード

□□ D1

向きに注意!



④セラミックコンデンサ

□□ C2 20 (20pF)

極性なし
まっすぐに
差し込む

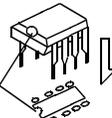


⑤ICの取付

□□ IC1 12F509

向きに注意!

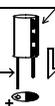
くぼみ
位置に
注意!



⑥電解コンデンサ

□□ C3 1μF

一の印
足の
長い方が+



⑦ジャンパー線

□□ Q1

図の位置の穴に差込んでください。
※穴位置に注意してください。



⑧スライドスイッチ

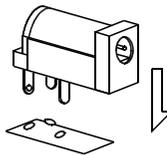
□□ SW1

まっすぐに
差し込む



⑨DCジャック

□□ DJ1

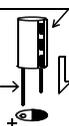


⑩電解コンデンサ

□□ C1 100μF

一の印

足の
長い方が+

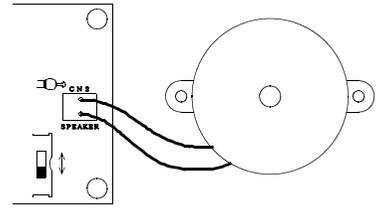


⑪発音体(圧電素子)の接続

□□ CN2 発音体

CN2に取り付けてください。

極性(取り付け方向)はありません。

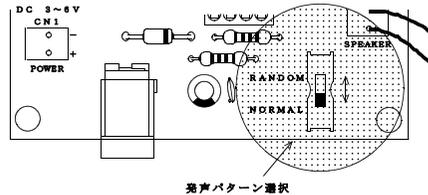


⚠ 最後に基板全体を見て部品の取付が間違っていないかどうか、あるいはハンダ付け不良やショートがないかどうかを良くチェックしてください。

③動作チェック

A: 鳴き方のモードセット

基板上のスイッチ「SW1 (MODE SELECT)」を「NORMAL」側にセットしてください。



発声パターン選択

B: 電源の接続

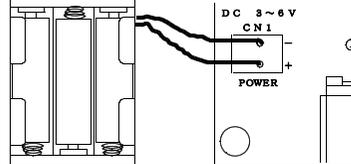
⚠ 本品を大電力が供給可能な電源または電池に接続する場合は必ず1A程度のヒューズを電源ラインに挿入してください。万一ICが破壊した場合電源の供給が停止しないと発熱により発火に至るおそれがあります。

○ACアダプターの場合は「DJ1」に接続してください。

○電池などの場合は「CN1」に接続してください。

電池
1.5V×3

⚠ 「+」「-」を間違えないよう、よく確認して接続してください。



◆電源を入れて

「ピーーツ ピッピツ・・・ピピ」

と鳴き始めればOKです。

▽ うまくいかない場合は、すぐに電源をはずし、もう一度パーツの間違いやハンダ付け不良がないかを、よく確かめてください。

④使い方

「ランダム」モード時の無音時間は最長約30秒程です。

A：鳴き方のモードセットについて

基板上のスイッチ「SW1 (MODE SELECT)」で下記の2モード中のどちらかを選択できます。

RANDOM ランダム	発声間隔時間・発声音が不規則変化で動作します。 「ピッ」「チチチチ」「ピョピョ」の3音を不規則な組み合わせ(乱数による)で鳴かせます。
NORMAL 断続	一定の間隔で鳴き続けます。 「ピーッ ピッピッ・・・ピピ」音を断続的に繰り返します。

スイッチを、音が鳴っている時に操作しても、本機が故障する事はありません。

音が鳴っている時に操作した時

- A：「ランダム」→「断続」に変更した場合
すぐに「断続」モードに切り替わり鳴き始めます。
- B：「断続」→「ランダム」に変更した場合
鳴き終わってから約2秒後に「ランダム」モードに切り替わり、3種類の音の内いずれかの音を鳴らします。

B：注意事項

◆マイコンによる合成音なので、音種や時間間隔等は、外部CRの取り替えでは変更できません。

◆電源電圧が低くなると、音声全体が低く長くなりますが故障ではありません。

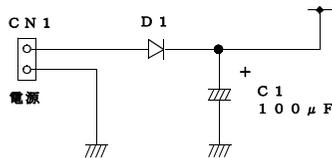
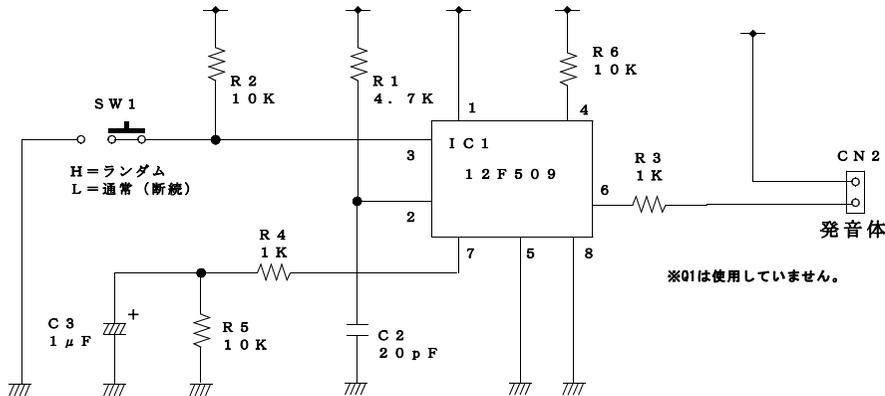
◆当キットに使用されているマイコン「12C508」にはプログラムが書き込まれています。電子部品店で同じ物を買っても、プログラムが書き込まれていないので、そのまま代用する事はできません。

◆当キットは「マイコン」を使用しています。強い電磁波を受けると誤動作や暴走する事があります。(暴走した場合は一旦、電源をはずしてください。)

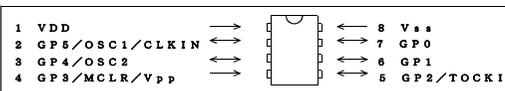
◆電源に不安定な物(電圧が変動する物)を使用しないでください。マイコンの暴走の原因となります。

◆電源に6Vを超える電圧を加えないでください。マイコンが破損する事があります。

回路図



12F509 ピン ダイアグラム



仕様は予告なく変更する事がございますのでご了承ください。



お問い合わせについて

- ・本製品の規格以外の使い方や改造の仕方についてのご質問にはお答えできません。
- ・規格以外の使い方や改造による不動作、部品の破損等の損害については一切補償致しません。
- ・ご質問は質問事項を明記の上「封書」「FAX」「Eメール」でお願いいたします。
- ・お電話ではお答えできません。(内容によっては回答に時間がかかる場合があります。)

お問い合わせ先 [FAX (06) 6644-4448]
[Eメール wonderkit@keic.jp]

ワンダーキット 製品開発・販売元

共立電子産業株式会社 共立プロダクツ事業所
〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1
TEL (06) 6644-4447 (代)
FAX (06) 6644-4448